



湯田 哲 議員

新事業で水道事業を安定化、水道料金低価格化を

町長 水の販売は現実的ではない

問 針生地区の水
道水を、松沢
地域全体で利用するた
めの工事が着々と進ん
でいます。針生地区の
水道事業で松沢地域全
体が間に合うのか。

町長

針生配水池
のデータで
は水源より1日約
500トンの水が供給さ
れ、針生地区の生活用
水で約100トン、静川
地区から塩江地区まで

で約230トンが消費さ
れており、合計が約
330トンで、松沢地域
全体を十分供給できま
す。

問

その余剰水を
ポトルドウォー
ターで販売し、水道事
業の新たな収入源にし
ては、

町長

水の販売に
は、製造の
ために施設設備、大量

生産と販売が求めら
れ、利益を得るには現

実的ではありません。

兩校を活用したドローン関連事業の詳細は

町長 寒冷地テストフィールドの拠点
として活用

問

新聞等の「産
校を活用した
実証環境の提供」とす
るドローン関連事業の
詳細は。

町長

県及び福島
ロボットテ
ストフィールドは、本
町の冬の低温・降雪環
境がドローンの飛行実
証に適しており、廃校
備設の旧楡沢中学校、
旧上郷小学校を寒冷地
テストフィールドの拠
点とし、ドローンの社
会実装への実証試験を
行う企業に活用してい
たく計画です。

町は地域との調整、
企業のサポートなどを
担っています。
去る12月6日に旧楡



旧楡沢中学校で実証された
ドローン飛行実証見学会

問

地元企業の話
性も含め、
町の考えは。

町長

町全体をテ
ストフィー
ルドとして捉え、支援
していきます。

ドローンの開発や研
究では、レンズやセン
サーなどの高度な技術
を持つ地元企業などと
連携し、部材調達や開
発が円滑に行えるよう
相互に情報を共有し、
ドローン産業の発展へ
の環境整備に努めてい
きます。

その他の質問

・地区の「環境整備」(仮称)による除雪
支援の充実
・「子ども達の未来へこれからの学校の姿を
考える会」(仮称)の開催は